

12月12日（金）2限、国際理解コース1～3年生を対象に、在名古屋カナダ領事館領事のデイヴィッド・パデュー氏をお招きし、講演会を実施しました。

講演では、カナダの地理や気候といった基礎的な内容から、日加外交の歴史、経済関係、政治体制に至るまで、幅広いテーマについて分かりやすくお話しいただきました。

カナダは、世界で初めて多文化主義（multiculturalism）を正式な国家政策として採用した国です。多民族国家であるカナダでは、①包摂性を大切にする、②人権を尊重すること、③すべての国民に経済的機会を提供すること、を重視しているとのことでした。現在、カナダの人口の約5分の1以上が移民で構成されており、多様な背景をもつ人々と共に生活することは、ごく自然なこととして受け止められています。そのため、互いの文化や価値観を知り、理解しようとする姿勢が大切にされています。外国人住民が増えつつある日本においても、共に生きる社会を築く上で、見習うべき姿勢であると感じました。

講演後には約10分間の質疑応答の時間が設けられ、全学年の生徒から多くの質問が寄せられました。本校には来年度カナダへの留学を予定している生徒がおり、そのご縁から今回の講演会が実現しました。ご協力いただいた在名古屋カナダ領事館の皆様をはじめ、お話をくださったAFS愛知支部の皆様に関心と感謝申し上げます。

